

令和7年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
倫理学		講義	木村 和弘	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
倫理問題に配慮して医療、歯科医療、研究をおこなうために、生命と医療に関わる倫理の重要性を理解できるようにします。保健医療福祉の現場における倫理的問題、主に生命倫理（健康と病気、医療問題）について学びます。事例を通して、具体的な問題（脳死・臓器移植・安楽死・意思決定支援等）について考えます。自分で考え、考えを述べることを大切にします。また、他者の意見を尊重し、様々な考えがあることを認め、共に考え、医療者としてあるべき姿を考えます。				
授業の到達目標				
1. 生命の尊厳を説明できる。 2. 臨床、研究、情報に関わる倫理的問題を説明できる。 3. 生命倫理、医の倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 4. 医の倫理に関する規範を説明できる。 5. 患者の権利を説明できる。 6. 延命治療と尊厳死に関わる患者の自己決定権を説明できる 7. インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、EBMを説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	なぜ、生命倫理を学ぶのか？ ～ 究極の選択「あなたなら、どうする？」～			
2	職業倫理から生命倫理を考える。～ 「ヒポクラテスの誓い」と「生命倫理の原則」～			
3	患者に本当のことを伝えるべきか否か？～ 「インフォームド・コンセント」と「知る権利、知らないでいる権利」～			
4	超高齢社会の倫理的問題その①～ 少子高齢多死社会、これから何が問われるのか～			
5	超高齢社会と倫理的問題その②～ 「身体拘束廃止」と「高齢者虐待防止」～			
6	移植医療について考える。～ 脳死と臓器移植～			
7	出産と生殖補助医療について考える。～ ①胎児の権利 ②代理出産 ③一人の子どもに5人の親～			
8	死について考える。ターミナルケアについて～ 安楽死と尊厳死、延命治療、緩和ケア、患者・家族の想い、人生会議～			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	40%	選択式問題と、論述問題を出题します。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点	30%	毎回、個人ワーク、グループ討議を行います。取り組みの姿勢、学びについて評価します。		
その他	30%	毎回、講義の最後に「今日の学び」というミニレポートを書きます。その内容による評価です。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	毎回テーマに合わせた資料を配布します。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				